

福岡県における伝統織物の世界ファッション化に向けた取り組み

1 博多織

(1) 沿革・特徴

起源は13世紀頃といわれる。17世紀初め黒田長政が帯を幕府の献上品に指定、献上博多と呼ばれる。地質が厚く、独鈷、華皿を図案化した浮線紋と柳条のある紋様をたて糸のみで表す、簡素で粋な感じの絹織物である。

(2) 従事者数・年間売上高

445名・約34億3千万円

(3) これまでの取り組み

ア 平成12年度から、地場企業5社と女性デザイナー（ロイヤル・チエ：今井千恵氏、ジャンヌマリー：大倉紀子氏）との提携により、博多織の素材を活かした洋風小物（ハンドバッグ、サイドバッグ、トートバッグ、ショルダー、ポシェット等）を「HAKATA JAPAN」ブランドとして開発

イ 海外（ニューヨーク）のトレードショーに出展

ウ 16年12月、ホテルシーホーク内に専門店をオープン

(4) 今後の取り組み

国内における「HAKATA JAPAN」の新たな専門店をオープンさせるとともに、ニューヨークやパリなどの海外に本格進出予定

2 久留米絣

(1) 沿革・特徴

19世紀初めに一少女（井上傳）により考案されたといわれる。庶民性の高い綿がすりで、紺地に白又は青抜きのかすり柄が特徴。絵がすり、十字がすりなどの種々のかすりが織られ、趣味性の高い着物として、他に洋装、インテリアなどに幅広く愛用されている。

(2) 従事者数・年間売上高

272名・約11億3千万円

(3) これまでの取り組み

16年度において採択された「JAPANブランド育成支援事業」を活用し、地場13企業と和装デザイナー（丸山正氏・坂田敏子氏）との提携により、久留米絣の素材を活かした若者向けアパレル商品（リメイクジーンズ、パッチワークシャツ、バンドナ等）を開発

(4) 今後の取り組み

ア 東京・福岡で発表会を開催予定

イ ニューヨークやパリなどの海外において、久留米絣新商品の展示・販売開始予定

東アジアにおけるソフトパワー 競争と福岡の取組み

世界に日本ブランドを浸透させるためには、まずアジアで評価されることが重要。ハード分野に限らずソフト分野でも長く日本がアジアをリードしてきたが、中国、韓国などの成長は著しく、日本がアジアの中心であり続けることに安閑とはしては行れない。アジアで確固とし地位を構築し維持する取組みが必要。

例えば、ファッション分野では「東京コレクション」はアジアでトップ。上海はレベル的にはまだ低いが、急成長するマーケットを背景に5～6年先は逆転もあり得る状況。

また、映画の分野では「東京国際映画祭」は現在アジア最大の国際映画祭だが、韓国では政府のバックアップにより国際競争力を高め、「釜山国際映画祭」は有名。

このため、アジアに対する取組みを国レベルで行うことが必要。同時に地域レベルでの取組みも大事。アジアの交流拠点を目指す福岡では、この分野で積極的な取組みを行っている。

ファッション

- ・福岡アジアコレクション

アジアのデザイナーを集めたコレクションで平成10年から毎年開催

映像等

- ・アジアデジタルアート大賞展

アジアを対象としたデジタルアート公募展で平成13年から毎年開催

- ・ アジアフォーカス・福岡映画祭

優れたアジア映画を集めて上映する映画祭で平成3年から毎年開催

食など

- ・ アジア太平洋フェスティバル

アジア各国の料理を出す「アジア屋台」やアジアの伝統芸能を披露する「アジアステージ」など。平成2年から毎年開催。

文化

- ・ 九州国立博物館

日本文化の形成をアジア史的観点から捉えるという新しい視点からの博物館（平成17年10月開館予定）

- ・ 福岡アジア美術館

世界で唯一のアジア近現代美術の専門館（平成11年開館）

- ・ アジアマンス フクオカ

アジアとの交流イベントを多様な分野にわたって1ヶ月間開催。平成2年から毎年開催

- ・ 福岡アジア文化賞

アジアの固有かつ多様な文化の保存と創造に顕著な業績をあげた個人・団体を表彰。平成2年から毎年実施

- ・ 福岡アジア国際会議

アジア等の代表的シンクタンクが集まる会議で平成13年から毎年開催